

いちから学べる ホームヘルパー・介護保険事務科

はじめての介護業界でのお仕事に不安なく就いていただけるよう「いちから学べる」安心のカリキュラム設定です。

高齢の方や障がいを持った方が、当たり前で普通の生活をしていただくには、コミュニケーションが何より大事！

本訓練では、知識・介護技術のほかコミュニケーション技術をいちからしっかり学びます。

あなたも「人が人を支える」社会の一員として活躍してみませんか！

【訓練修了後に取れる資格】

- ① 「ホームヘルパー2級」（全課程修了者取得）
- ② 「居宅介護従業者養成研修 2級課程」（全課程修了者取得）
- ③ 「介護保険事務士上級」（任意受験）
- ④ 「普通救命講習修了」（講習受講者）

◆募集期間

平成24年 12月17日～平成25年 1月17日

◆訓練期間

平成25年 2月15日～平成25年 5月14日
(3ヶ月コース)

◆訓練実施場所 及び 選考会場

専門学校 日本福祉学院

住所：札幌市豊平区月寒西1条4丁目3番1号

つしま記念学園研修センター 2F

TEL:011-827-7217 FAX:011-827-7062

◆選考日 平成25年 1月23日

◆定員 30名

(応募者が定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります)

◆選考時間

お申し込み順に随時設定します

◆選考方法

面接および筆記試験を行います

◆持ち物

筆記用具

◆駐車場

なし(公共交通機関でお越しください)

◆自己負担額

16,760円(詳細は裏面をご覧ください)

◆受講料

無料にて実施します！

◆補講

無料にて実施します！

【講座の中で行われる行事】

- ① 施設見学(全員必須)
- ② 福祉用具見学(全員必須)
- ③ 施設食の試食会(希望者のみ有料)
- ④ 訓練中も訓練後も！求人情報の配付・希望施設への見学の仲介など就職支援は継続的に実施！
就職研修は個別に実施しています！

説明会日程

- ①H24. 12月27日 10:00と14:00開催
- ②H25. 1月 8日 10:00と14:00開催
- ③H25. 1月15日 10:00と14:00開催

会場：つしま記念学園研修センター

*1時間15分くらいの説明会となります

*事前連絡不要ですので、お気軽にお越しください！

お問い合わせ先

電話番号：011-827-7217

“求職者支援訓練”とお申し付けください

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条4丁目3-1 つしま研修センター

実施機関 学校法人 つしま記念学園 専門学校 日本福祉学院

附帯教育事業部 求職者支援訓練 担当 清野・小林

訓練応募方法

所管のハローワークに求職の申し込みを行い、職業相談の上、ハローワークで確認を受けた「受講申込書」下記まで持参もしくはご郵送にて提出してください。



訓練カリキュラム																			
訓練実施機関名:		学校法人 つしま記念学園																	
訓練の種別		基礎コース										想定する就職先の職務・仕事 (※基礎コースの場合は記載不要)							
		実践コース(05介護福祉分野)																	
訓練科名		※40文字以内で記入してください。 いちから学べるホームヘルパー・介護保険事務科										介護職員・介護事務員							
募集期間(予定)		平成24年12月17日 ~ 平成25年1月17日																	
選考日(予定)		平成 25 年 1 月 23 日																	
選考方法		☑ 面接				☑ 筆記試験				その他()									
選考結果通知日		平成 25 年 1 月 28 日																	
訓練期間		平成25年2月15日 ~ 平成25年5月14日 (3 か月) (訓練日数 57 日)																	
訓練時間		9 時 0 分 ~ 15 時 50 分										訓練定員		30 名					
訓練対象者の条件		特になし																	
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)		新規学校卒業者				ニート等の若者				障害者				母子家庭の母等					
		被災者				外国人				その他()									
訓練目標 (仕上がり像)		ホームヘルパー・介護職員として、基本的な介護の知識をしっかりと養い将来につながるような基礎を作り上げる。また、介護保険制度のエンプラインス・請求・労務管理の知識、とっさのときの救命救急講習で得た救急対応の知識をプラスしてより即戦力に近づけるよう訓練を行い、意欲的で心豊かな人材へと成長させる。																	
訓練修了後に取得 できる資格		名称(「介護保険事務士上級」受験資格)										認定機関(一般財団法人 つしま医療研究財団)			☑ 任意受験				
		名称(ホームヘルパー 2級課程)										認定機関(学校法人 つしま記念学園)							
		名称(居宅介護従業者養成研修 2級課程)										認定機関(学校法人 つしま記念学園)							
		名称(普通救命講習修了)										認定機関(財団法人 札幌防災協会)							
訓練内容	科目		科目の内容										訓練時間						
	社会		開講式・訓練の概要説明等(3H)、閉講式・就職支援等(3H)																
	就職支援		ジョブカード作成 1H、キャリアコンサルティング 3回																
	福祉サービスの基本視点		1)福祉理念とケアサービスの意義 2)サービス提供の基本視点										6時間						
	社会福祉の制度とサービス		1)老人保健福祉の制度とサービス 2)障害者(児)福祉の制度とサービス										8時間						
	ホームヘルプサービスに関する知識		1)ホームヘルプサービス概論 2)ホームヘルパーの職業倫理 3)指定相談支援事業者等関係機関との連携										9時間						
	サービス利用者の理解		1)障害・疾病の理解 2)高齢者・障害者(児)の心理 3)高齢者・障害者(児)等の家族の理解										21時間						
	介護に関する知識と方法		1)介護概論 2)介護事例検討 3)住宅・福祉用具に関する知識										18時間						
	家事援助に関する知識と方法		1)家事援助の方法										5時間						
	相談援助とケアの方法		1)相談援助とケア計画の方法										4時間						
	介護保険事務(座学)		1)介護保険制度の概要・創設などの基礎的な知識 2)介護保険報酬請求等の知識										68時間						
	関連領域の基礎知識		1)医学の基礎知識Ⅰ 2)在宅看護の基礎知識Ⅰ 3)リハビリテーション医療の基礎知識										9時間						
	職業能力基礎講習		1)自己理解 2)職業意識 3)表現スキル 4)人間関係スキル 5)コミュニケーション技術										30時間						
	安全衛生		1)安全衛生										3時間						
	介護技術演習		1)共感的理解と基本的態度の形成(座学) 2)基本介護技術 3)訪問介護計画の作成と記録・報告の技術(座学) 4)レクリエーション体験学習(座学) 5)実習オリエンテーション(座学) 6)基本的介護技術の習得										67時間						
	普通救命救急講習		1)胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸の方法 2)AED(自動対外式除細動器)の使用方法 3)交通事故などで出血している方に対する止血法の実技指導										3時間						
	介護保険事務(演習)		1)PCを使用した介護保険報酬請求実務										3時間						
	介護実習(所外)		1)介護実習 2)在宅サービス提供現場見学 3)ホームヘルプサービス同行訪問										30時間						
	職場体験		☑ 職業人講話				1)「福祉」の理解を深めるための導入 2)介護業界をもっとよく知ろう!! 3)介護業界の実態と労働条件 4)認知症現場で働く方からの体験談 5)介護職員の心構えとマナー						8時間						
	☑ 職場見学		その他				職場見学会(①介護付有料老人ホーム「天」、特別養護老人ホーム幸楽の里、特別養護老人ホーム「幸楽の里」つきさっぶの丘、介護付有料老人ホームハッピーⅡ②社会福祉協議会/福祉用具見学)						8時間						
企業実習						実施しない				☑ 実施する				※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。 6時間					
訓練時間総合計		306時間				学科				181時間		実技		103時間		職場体験等		16時間	
受講者の負担する費用		教科書代								9,800		円		合計		16760円			
		その他(食事会費 ¥400 福祉用具見学交通費 ¥560 実習交通費 ¥6,000)				6,960		円											
指導方法		訓練形態(個別指導・補講を除く)				☑ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する													
		施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫				福祉用具・障害者疑似体験グッズなどの介護の教材を使用し、より現場に近い演習を目指します!また、多種多様なDVDを活用し介護・福祉への知識向上に努めます。また、職場見学・施設食事会等現場との距離をより身近に感じられるよう工夫し、就職時の不安感を取り除きます。													
		受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫				訓練生ひとりひとりに積極的なコミュニケーションを働きかけ、講義内容・就職支援等の相談について細やかな対応を致します。訓練が終了してしまっても、引き続き就職相談や悩み相談にも対応し末永く関わりを継続していきます。													